



明石市立  
文化博物館

## 文化博物館だより 第275号

2009年6月11日

みなさん、こんにちは。6月、衣替えの季節になりました。

### ● 月下のギャラリートーク

初回は新型インフルエンザの影響で中止となった、『正井展』のギャラリートーク。6日(土)は、予定通り行われました。

今回は「月の画家」である正井画伯の作風が確立されてからの作品についての列品解説でした。まず、ギャラリー正面の「破舟」について。よく見ると月が描かれている



ギャラリートークにお集まりいただいた観覧者  
(右端学芸員)

という学芸員の話聞き、参加者の中には近寄ってじっと目をこらす方が。

ぱっと見ただけではわからないけれど、月が描きこまれている作品は数点展示されています。

また、展示室右手のびわ湖がモデルの作品を例に、省略と独特の表現で風景を描きつつも精神性を感じさせる正井作品の特徴について解説がありました。

終了後、照明についてなど参加者からの質問もあり、月を意識したことなどが明かされていました。

### ● うたとバイオリンの共演

『正井展』のロビーコンサートが、7日(日)に行われました。今回は、ベリーニ作曲「優雅な月よ」や「おぼろ月夜」など月の画家にちなんだ選曲で、三好啓子さんのうた、清原千景さん、久恵さん姉妹のバイオリン演奏でお楽しみいただきました。

合間のトークで「正井さんの作品には月が多く描かれているということで、バイオリンの繊細な音色が合うと思い…」と、三好さんが話されたように、美しく繊細なハーモニーが展示会の雰囲気をもっと深いものにして、聞き入るお客様はゆったりとした表情をされていました。



コンサートの様子

今月予定されていたトライやるウィークは、11月に延期されました。様々な影響を及ぼした新型インフルエンザ。今後のイベントは予定通り開催。特別講演会の申込みは、受付中です。

■特別講演会『正井和行 人と芸術』6月13日午後2時 佐藤直司氏(大分県立芸術会館副館長)